

踏み跡 <My Mountains>

那須	沼ツ原から三斗小屋温泉へ	No.212
----	--------------	--------

長い間山歩きを続けていると、色々なところにある興味深い温泉を知ることができる。いずれ行ってみたいなと思い、それが実現した所もあるしいまだに実現しない所もある。奥那須や会津の山に興味を持って調べ始めた頃、那須の山奥にある三斗小屋温泉を知った。

那須岳の裏手（西側）の小さな沢沿いにあるこの温泉へ行くのには、那須岳を越えて行くルートと板室温泉から那須連山の西側の沼ツ原を抜けて行くルートが考えられる。

車で行く関係から、駐車場所が確保できて、しかも駐車ポイントからの往復または周遊コースが組めることが望ましい。そんなことから板室・沼ツ原コースで入って、那須岳経由で沼ツ原へ下りるコースを考えた。悪天候になったら往路を引き返すこともできるし・・・。

夏休みの家族旅行の一環としてでかけることにしたが、次女が合宿で河口湖へ行ったため、この山旅のメンバーはかみさんと長女と三人。長女のリクエストは「①星を見たい ②絵を描きたい」。この山なら要望に応じられるだろう。

平成2年8月27日

5時15分に自宅を出発。岩槻から那須まで東北自動車道を走り、那須南麓の谷に入りしばらく沼ツ原の駐車場に到着。

ここで重大な事実判明、食糧を家へ忘れてきてしまった。これから食べる昼食もない。お店がある板室温泉まで車でひとつ走り。

出足からの失敗を笑い合いながら、沼ツ原湿原でラーメンを中心とした昼食とスケッチを中心とした大休止。13時30分出発。青く高い空と、南月山と白笹山の深い緑のアクセントが美しい。

しばらく沼ツ原の湿原を歩くとブナの原生林に入り、徐々に下り始める。ガイドブックに「熊が出るので注意せよ」と書いてあったので緊張して歩いていると道端にもそのような看板が立っている。

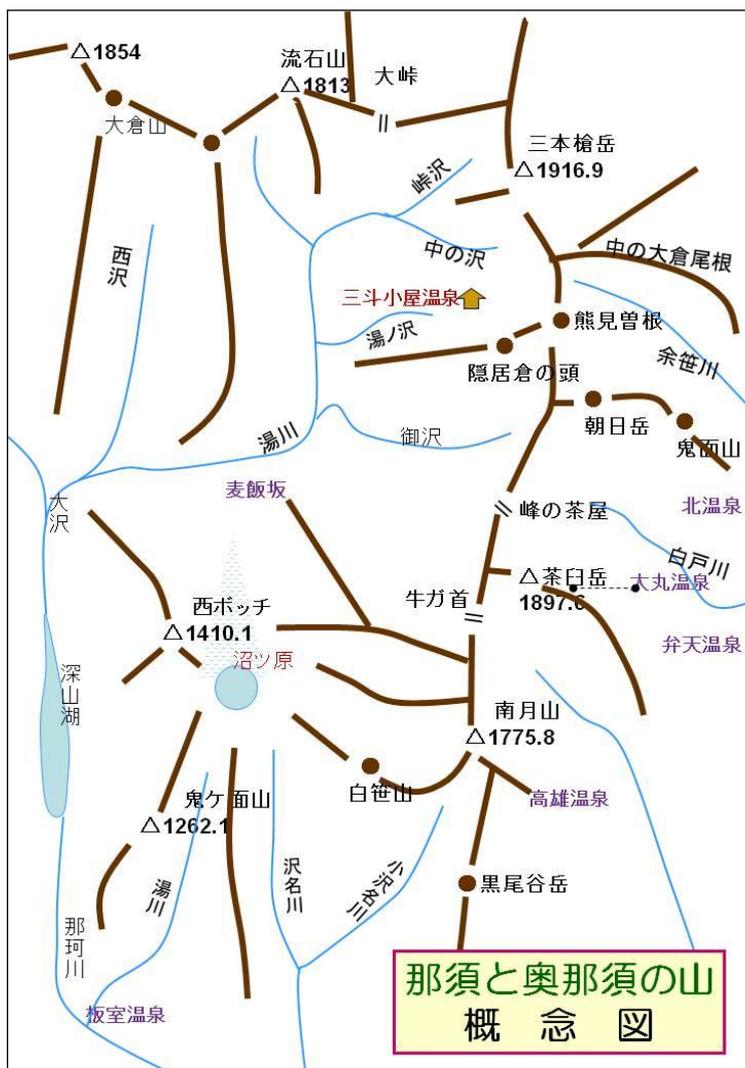
麦飯坂（ばくはんざか）の急な下り坂を下りきると小沢を渡り、湯川の流れに出た。湯川は増水のため飛び石伝いの徒渉ができない。靴を脱いで裸足で湯川を渡り、対岸でまた靴を履くことになった。雨が降ると帰れない山かも。

湯川を渡った後は沢の西側の尾根の腹を少しずつ登るようになる。しばらく進むと突然平坦な場所に出た。三斗小屋宿跡と表示がある。昔ここに宿場があったが今は廃村になってしまった。昔はこの道は大峠を越えて会津へ抜ける険しい山道だったにちがいない。

次の徒渉地点は吊り橋がかけてあり靴を脱ぐ必要はなかったが、ロープと丸太で作った簡単なもので祖谷のかげら橋を思わせるようなスリルのある吊り橋。

吊り橋を渡った後は湯ノ沢に沿った最後の登り。ここも「熊出没注意！」の標識があり最後の緊張。谷沿いに登って行くと突然目の前が開けて、山の斜面に張り付くように立つ二軒の宿の前に飛び出した。三斗小屋温泉 16時50分到着。二軒の宿は煙草屋と大黒屋。我々の宿は煙草屋。

夕食は広い部屋で、見ず知らずの人達と並んで会話を弾ませながら。夕食後ひと休みした後で「会津駒が見える露天風呂」へ。湯船に浸かって西の方を見ると、暮れゆく大倉山と流石山、刻一刻数を増していく星空を眺めながらの入浴はまさに天国。やがて露天風呂のランプに火が入



那須と奥那須の山
概念図

踏み跡 <My Mountains>

り、大倉山の上には北斗七星、大峠上部にカシオペア、その上空に北極星も。後から入ってきた見知らぬ人に缶ビールをふるまわれて、ランプと月明かりの下で「湯の中での雑談」が弾んだ。

21 時になると発電機が止まって照明はランプだけになるので、20 時 45 分に就寝。

平成2年8月28日

4時に目が覚めたがまた寝てしまい、結局起床したのは5時半。晴天の早朝、付近を散歩の後露天風呂で朝湯。まだ肌寒い空気に包まれて湯につかると、谷を挟んで遥か向こうの大倉山がこちらを眺めている。しかし、



やや雲がちで会津方面はあまりよく見えなかった。天気が良いので那須岳に登り、姥ヶ原から沼ツ原へ下ることにする。三斗小屋温泉から隠居倉の腹を巻くようにゆっくり登って行くと、だんだんに那須岳が近くなって来る。

やや雲がちで会津方面はあまりよく見えなかった。

天気が良いので那須岳に登り、姥ヶ原から沼ツ原へ下ることにする。三斗小屋温泉から隠居倉の腹を巻くようにゆっくり登って行くと、だんだんに那須岳が近くなって来る。

延命水で「水飲み休み」をとって、峰の茶屋に8時50分に到着。晴れた朝の清々しい空気の中でスケッチをしているうちに雲が湧きだして、怪しげな空になってきた。(左スケッチ)

地図を見て下山ルート(牛ヶ首・姥ヶ原経由沼ツ原へ)を確認し、9時50分出発。

牛ヶ首の手前の茶臼岳北西面は湯気の噴出が大きくて、パワフルな火

(右写真下段中央)

山を感じさせる。噴気孔から噴き出す蒸気を体中で感じながら牛ヶ首へ向かう。牛ヶ首から西側へ下って行くと砂礫が堆積してできた平地の姥ヶ原。



ともいえない。

沼ツ原湿原に12時45分

に帰着。素晴らしい山旅を振り返りつつ沼ツ原を散策し、14時に出発して家路についた。



沼ツ原

気持ちの良い林の中を進む

三斗小屋宿跡

沼ツ原から三斗小屋温泉へ

ロープと丸人の吊り橋

三斗小屋温泉に到着



茶臼岳へ登る

三斗小屋温泉から茶臼岳を経て沼ツ原へ

茶臼岳から下る

まもなく沼ツ原

以上

奥秩父の和名倉山 (No.211) から帰って、中一日置いての連ちゃん登山だったので、さすが疲れた。